

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
平成 29 年 6 月 29 日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者 住 所 愛知県刈谷市熊野町 3-3-19 氏 名 株式会社 エスケイエム 代表取締役 岡田 耕二 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 電話番号 0566-27-5233	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名 称	株式会社エスケイエム
事業場の所在 地	愛知県刈谷市熊野町 3-3-9
計画期 間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種 類	06: 総合建設工事業、95: その他のサービス業
②事業の規 模	売上高： 8518 百万円
③従業員 数	936 人（平成 29 年 3 月 31 日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事（建物、工場の床、その他） がれき類：再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 木くず： 再生処理業者に委託してチップとして再資源化 建設系混合：中間処理業者に委託して選別、再資源化および最終処分 廃プラスチック： 中間処理業者に委託して選別、再資源化および最終処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 建設事業本部長 ↓ 建設部長 ↓ 建設部施工室長 ↓ 工事担当者 (マニフェスト発行者) ↓ 工事担当者 (マニフェスト発行者) ↓ 工事担当者 (マニフェスト発行者) ↓ 			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
1 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 廃棄物の種類ごとの分別徹底 ・ 工事から排出された廃棄物へ作業員の生活系廃棄物の混入防止		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	排出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 現状の取組を継続的に実施 ・ 工事企画時のリサイクル率向上		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	・ 分別しリサイクルできるものはリサイクルにまわしている		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	・ 更に分別を細分化することによるリサイクル率向上 ・ 木くずのリサイクル率向上		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	対象なし	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	対象なし	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
1 現状	【前年度（26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	対象なし	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	対象なし	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t

		(今後実施する予定の取組)
--	--	---------------

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

1 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	対象なし	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	対象なし	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

1 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照	
	全処理委託 量	t	t
	優良認定処理業者へ の 処理委託 量	t	t
	再生利用業者へ の 処理委託 量	t	t
	認定熱回収業者へ の処理委託 量	t	t

		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託 量	t	t
		(これまでに実施した取組) ・可能な限りリサイクル業者へ委託 ・リサイクル業者を選定して委託		

(第5面)

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙参照		
	全処理委託 量	t	t	t
	優良認定処理業者への処 理委託 量	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託 量	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託 量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託 量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状の取組を継続的に実施 ・優良認定業者への委託を優先			
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ① 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ② 欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④ 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

		【前年度(28年度)実績】																			
①現状	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	木くず	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	混合廃棄物	廃プラスチック類	廃塗料	石膏ボード	建設汚泥	汚泥	ガラス・陶磁器くず	廃酸	廃油	廃アルカリ	がれき類	石綿含有産業廃棄物	繊維くず	合計
	排出量(t)	1280	837	315	27	178	294	129	73	17	149	132	138	19	1	1	5	12	8	9	3622
【目標】																					
②計画	産業廃棄物の種類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	木くず	金属くず	安定型混合廃棄物	管理型混合廃棄物	混合廃棄物	廃プラスチック類	廃塗料	石膏ボード	建設汚泥	汚泥	ガラス・陶磁器くず	廃酸	廃油	廃アルカリ	がれき類	石綿含有産業廃棄物	繊維くず	合計
	排出量(t)	1000	800	300	20	150	250	100	50	10	140	100	100	10	1	1	5	10	5	5	3057

[illegible]